

Economic Indicators

発表日: 2022 年 4 月 8 日 (金)

主要経済指標予定 (2022 年 4 月 11 日～4 月 15 日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(4 月 11 日～4 月 15 日の主なイベント、指標予定)

	指 標 名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
4 月 11 日 (月)					
4 月 12 日 (火)	8:50 3 月貸出・預金動向 国内銀行貸出残高 (前年比)	—	—	—	+0.3%
	8:50 3 月企業物価指数 (前月比)	+0.9%	+0.9%	+0.5%～+1.2%	+0.8%
	(前年比)	+9.2%	+9.3%	+8.8%～+9.5%	+9.3%
4 月 13 日 (水)	8:50 2 月機械受注統計 船電除く民需 (前月比)	▲1.0%	▲1.5%	▲7.3%～+2.5%	▲2.0%
	(前年比)	+13.6%	+13.8%	+7.4%～+19.7%	+5.1%
	8:50 3 月マネーストック M2 (前年比)	+3.6%	+3.6%	+3.5%～+3.6%	+3.6%
	M3 (前年比)	+3.2%	+3.2%	+3.0%～+3.2%	+3.2%
	広義流動性 (前年比)	+4.2%	+4.1%	+3.8%～+4.2%	+4.2%
4 月 14 日 (木)					
4 月 15 日 (金)	13:30 2 月商業動態統計・確報 小売業販売額 (前年比)	—	—	—	▲0.8%



3月企業物価指数・国内企業物価 当社予想：前年比+9.2% 中央値：同+9.3%

3月の国内企業物価を前月比+0.9%、前年比+9.2%と予想する。原油価格の上昇により石油・石炭製品、電気・ガス・水道が押し上げ、前年比9%台の極めて高い上昇が続くだろう。先行きは、ウクライナ問題が原油価格高騰に拍車をかけたことで、来月は石油・石炭製品がさらに伸びを高める公算が大きく、国内企業物価全体でも高い上昇が続くだろう。

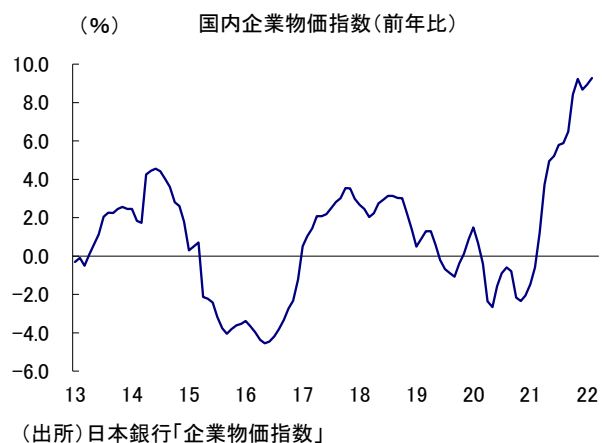
(副主任エコノミスト：大柴 千智)

2月機械受注・船舶電力除く民需 当社予想：前月比▲1.0% 中央値：同▲1.5%

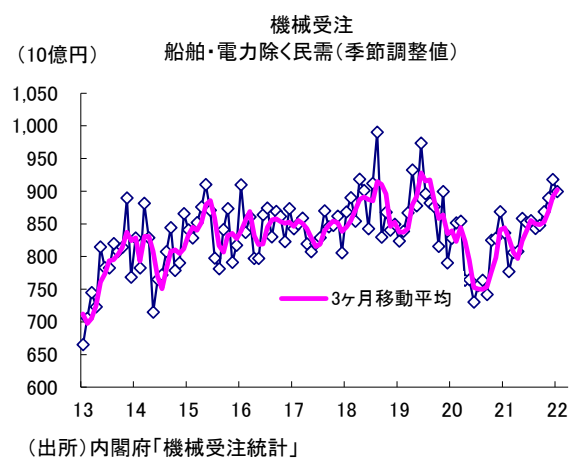
2月の機械受注（船舶電力除く民需）は、前月比▲1.0%を予想する。新型コロナウイルスの感染拡大やエネルギー価格の高騰などを背景に、2ヶ月連続の減少となることが見込まれる。先行きについては、経済活動の再開を背景に増加傾向の推移が予想されるものの、ロシアによるウクライナ侵攻など、企業を取り巻く不透明感が高まる中で回復ペースは緩やかなものに止まるだろう。

(主任エコノミスト：小池 理人)

図表1



図表2



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

